

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-1-3 青少年の健全な育成の推進
---------	---------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	青少年家庭課長 黒田利恵	電話番号	0852-22-5242
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	青少年を健やかに育む意識向上事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	青少年の健全育成に対する県民の意識が向上する	
事業概要	社会全体で青少年育成に取り組む意識を高める体制づくりを進めるため、青少年育成島根県民会議の諸活動等を通して、広く県民の理解を深め、学校や家庭、地域、関係機関・団体との連携を強化する。 「県民運動推進事業」：青少年育成島根県民会議を推進するための意識啓発や地域活動の支援を行うため、青少年育成島根県民会議に対して事業費等を補助する。 「広報啓発事業」：「島根県青少年の健全な育成に関する条例」の趣旨や内容、及び最近の青少年に係わる諸問題を周知するため、県民に対して広報媒体を活用した広報活動を実施する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 青少年育成島根県民会議の会員数	目標値		1,050.0	1,070.0	1,090.0	1,110.0	人
		取組目標値						
	式・定義 青少年育成島根県民会議の会員及び賛助会員数	実績値	1,025.0	1,174.0				
		達成率	-	111.9	-	-	-	%
2	指標名 しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動推進者登録数（累計）	目標値		400.0	600.0	800.0	1,000.0	人
		取組目標値			1,100.0	1,300.0	1,500.0	
	式・定義 しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動サポーター登録者数	実績値	104.0	868.0				
		達成率	-	217.0				%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	2,360	2,352
うち一般財源 (千円)	2,360	2,352

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成島根県民会議の財政基盤強化（会員の拡充）に努めてきた。会員は新規加入3名、退会5名で前年比2名減の171名、賛助会員は新規加入168名、退会18名で前年比150名増の1003名となり、合計で前年比148名増の1174名となった。会員は増加したが、個人の賛助会員の占める割合が多い。また、高齢の会員もあり、高齢化を理由とした退会者も増えてきているため、依然、財政基盤が不安定である。</li> <li>・平成27年度よりスタートした「しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動」では、総会、フォーラム、各種会議等の機会を活用し、各地域で運動を推進する推進者の募集・登録を積極的に行い、前年比764名増の868名の登録者となった。</li> <li>・強化月間における街頭啓発活動及び関係機関へのチラシ配布による広報啓発。7月「青少年の非行・被害防止月間」（90,000枚）</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>「しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動」を重点活動とし、具体的な取組を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村訪問による意見交換を行うことで、県民会議の活動への理解・協力や市町村民会議の活動・課題把握が進んだ。</li> <li>・県民総ぐるみによる青少年育成を推進するため、平成28年3月に行った「しまね青少年プラン（スサノオプラン）」の改定、「島根県青少年の健全な育成に関する条例」の一部改正について、チラシ、各種広報誌等を活用し、総会、各種会議等をおして広報に努め県民への周知を図ることができた。</li> <li>・メディア対策にかかる啓発活動により、フィルタリングの重要性について学校・家庭・地域設定への周知が図られた。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成島根県民会議の活動が十分周知されていない。</li> <li>・青少年育成島根県民会議の財政基盤の不安定さ。（会員・賛助会員からの会費収入の伸び悩み）</li> <li>・青少年育成島根県民会議と市町村民会議及び関係団体との連携が希薄。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成島根県民会議の活動についての広報のあり方（機会、頻度、方法等）。</li> <li>・青少年育成島根県民会議会員の高齢化による脱会・新規会員の減少。</li> <li>・青少年育成島根県民会議の活動と各市町村のニーズの齟齬。（県民のニーズ、市町村民会議や関係団体の現状把握が不十分）</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成島根県民会議の理念、活動内容について広報のあり方について検討する必要がある。</li> <li>・各市町村における青少年健全育成にかかる取り組みの現状、ニーズ、各市町村民会議及び関係団体の組織・活動内容・課題等を把握する必要がある。</li> <li>・青少年育成島根県民会議の組織、活動内容、財政基盤の確立について上記をもとに見直しを図る必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しまニッコ！（スマイル声かけ）県民運動」を健全育成のシンボリック活動とし、県主催の会議・各種メディア等を活用し取組への理解・周知を図るとともに参加意識の醸成を図る。</li> <li>・各市町村の青少年健全育成の現状、ニーズ、各市町村民会議及び関係団体の組織・活動内容・課題の把握をもとに、島根県民会議のあり方について検討を行い、ニーズに合った活動の設計、展開、を行う。</li> <li>・青少年育成島根県民会議と市町村民会議及び各種団体の青少年健全育成にかかる役割を確認し互いに連携して取組の活性化を図る。</li> <li>・インターネット、スマートフォンなど電子メディアの有効な活用の仕方について青少年及び保護者・地域・団体への広報周知を継続する。</li> </ul>
--